舞鶴水先区水先人会
会長 高橋 喜彦

令和5年度事業報告書

令和5年度の事業内容に関する事項：

1) 水先業務実績（除・類似行為）

- (1) 令和5年4月1日～令和6年3月31日：184隻（前年度比17隻増）1,080マイル
- ① 関電側の都合により、石炭棧橋のバースシフトが6隻あった。
 - ② 新型コロナウイルス感染症が昨年5月に第5類に移行し、外航クルーズ船が、2019年以来4年ぶりに入港、12業務の増加となった。

2) 水先人会業務運営及び安全関連活動。（別紙一覧表参照）

- ① 水先人会内部監査実施（R5.4.06）
- ② 新人水先人研修（連合会主催）受講（川尻水先人） R5.5.16～17
- ③ 公認会計士による令和4年度水先人会会計監査実施。（R5.5.17）
- ④ 乗下船安全キャンペーン実施（R5.7.3～7.7）
- ⑤ 水先人免許更新前の安全研修受講（高橋水先人）R5.7.19～20
- ⑥ 日本水先人会連合会による外部監査受検（R5.8.22）
- ⑦ 業務費等取引会社とインボイス制度移行についてミーティング（飯野港運(株)、舞鶴曳船(株)）9.06
- ⑧ 安全運航強調月間実施 令和5年9月（飯野港運(株)、舞鶴曳船(株)と意見交換）R5.9.26、10.2
- ⑨ IMPA Pilot Ladder Safety Survey 実施。（R5.10.2～10.5）
- ⑩ 水先業務検証実施（川尻水先人）R5.10.17
- ⑪ 近畿運輸局による立入定期検査受検（R6.1.12）

3) 会議その他への出席：別紙一覧表参照

新型コロナウイルス感染症の第5類移行により、各種会議、委員会が再開され積極的に参加した。

- ① 水先人会定期総会（第1回及び第2回）開催。（R5.6.22、R6.3.28）
- ② 京都港湾局と外航クルーズ船受入れに関する合同ミーティングを2回実施（R5.4.19、5.19）

- ③ 乗下船安全について、舞鶴曳船(株)と合同ミーティングを2回実施 (R5.5.10~10.2)
- ④ MOL 社員及び関電関係者が来訪し、帆装備新造石炭船就航予定について説明を受けた。(R5.7.26)
- ⑤ 第2回液化CO₂船舶輸送に関する航行安全対策委員会に出席。(R5.11.08)
- ⑥ 日本水先人会連合会の令和5年度第2回総会出席 (R6.3.25)

4) 令和5年重点事業の実施状況

(1) 新人水先人の研修及び教育並びに安全業務の遂行

令和5年3月1日に入会、1か月間の新人研修を実施後は、新人単独業務に移行、未経験船種業務については、年間を通じて相乗り業務とする等指導教育を実施し、水先人会として乗下船を含め年間の無事故業務を達成した。

(2) 新型コロナウイルス感染防止対策

昨年5月に第5類感染症に引下げられたが、水先人会としてマスクの着用及び手洗い並びに体温計測等の感染防止対策を継続して実施、年間の感染者発生ゼロを維持継続している。

5) 適正な飲酒対策について

本年2月に日本水先人会連合会より、『適正な飲酒対策』について通達があり、乗船前のアルコール濃度計測値が、従来の0.15より低い0.05 mg/Lを超える場合、水先業務を禁止にする等、より厳正に対応する事となった。

本年3月からは、従来より実施していた乗船前のアルコール濃度計測値を、Pilot Information Cardにも記載し、3月28日の第2回定期総会で審議の上、『適正な飲酒対策に関する細則』を水先人会会則の細則に追加した。

以上。